キャラクター名	プレイヤー名
マリィ	

ポジション	アリス	**享年**	
メインクラス	ゴシック	**暗示**	罪人
サブクラス	ステーシー	**寵愛点**	0

初期配置	煉獄
最大行動値	9

能力値	クラス	修正	合計
武装	1	0	1
変異	2	1	3
改造	1	0	1

記憶のカケラ	内容
日常	
切り傷	ちひろ「ごめんなさい、わたしのせいで…」 あの日、私は彼女の手を引いて走っていた。 背後から迫る怪物の咆哮。 振り返った時、ちひろの左腕は… 肘から先が、なかった。 「大丈夫、ちひろ！ 絶対に助けるから！」 私は叫んだ。 でも、心の中では分かっていた。 この傷は、もう…
お茶会	白衣を着ているとその体躯、実際のカウンセラーよりも威圧感がある。 「今日で3回目のセッションですね。 さて、あなたの『ひとつめ』はどのような物語を語ってくれるのでしょうか？」 私の前に置かれたのは、 白い陶器のティーカップ。 そして、 空っぽのティースプーン。 「…飲めないものを、どうやって？」 「ええ、飲めません。 ですが、 あなたの『空っぽ』を、 私たちは『物語』と呼びます。 さあ、 あなたの番です。 あなたの物語を、 聞かせてください。」
少女	少女は言った、まだ微笑む、けれど震える声で。 「ねえ、 私たち、 ずっと一緒にいられるよね？」 私は、 答えられなかった。 ただ、 彼女の小さな手を、 強く握りしめることしかできなかった。 その日の夜、 少女は、 私の腕の中で、 静かに、 息を引き取った。 享年、 7歳。 死因、 衰弱死。 私は、 彼女の最後の願いを、 叶えることができなかった。 それから、 私は、 毎日、 毎日、 毎日、 彼女の墓の前で、 泣き続けた。 涙が、 枯れるまで。 そして、 私は、 決意した。 もう、 誰も、 失わないと。 そのために、 私は、 この力を、 使うと。

未練				
対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援 1
腕		かた		アクション	4	自身	移動 1
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ 1 つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害 1
ポジション		お家の女王		ダメージ	0	0〜1	自身がダメージを受けた際のみ使用可。対象の他の姉妹1体の次の「アクション」のコストを-1する。
メインクラス		好き嫌いは駄目よ？		アクション	1	自身	損傷した基本パーツ1つを修復する。
メインクラス		どうか傷つくものに救済を		ダメージ	0	自身	使用済みの「ラピッド」「ジャッジ」「ダメージ」のマニューバを一つ、再使用可能にする。
サブクラス		あなたたちの傷は私の罪		ダメージ	0	0〜1	対象が受けたダメージを、代わりに自身が受ける。1ターンに何度でも使用可。
頭		合気道		オート	なし	自身	最大行動値+1。
脚		癒しの尻尾		オート	なし	自身	最大行動値+1。
頭		かわいいお耳		オート	なし	自身	最大行動値+1。行動判定で大失敗しても損傷しない。
胴		盾となる翼		ダメージ	0	自身	防御2。
胴		たまには怒るわよ		オート	なし	自身	このパーツがバトルパート中に損傷した場合、最大行動値+2してもよい。
腕		平凡なバスケット		オート			たからもの。